

派遣報告書（報告者：角田 剛史）

大会名	第二回全九州総合バスケットボール選手権大会
開催地	長崎県立総合体育館
日 時	令和 06 年 11 月 16 日（土）
担当ゲーム 1	（女子） ひらまつ病院（佐賀県） vs 長崎大学（長崎県）
クルー	CC:佐藤 凜明 U1: 一瀬 諒 U2: 角田 剛史
Pre-Game Conference	
● メカニクスの確認（ローテーション・プライマリー） ● TO とのコミュニケーション（機材トラブル回避） ● プレーコーリング（イリーガルの手・インパクト・オフボール）	
Post-Game Conference	
● 判定が早すぎたり遅すぎたりテンポセッティングが出来ていなかった。判定基準を明確にする必要がある。 ● プレゼンはゆっくり、声を使ってわかりやすくデリバリーできた。 ● TO との連携（事前に機材不調の連絡があり、クルーでの共有ができた） ● リードプライマリーで、ノッキングしてしまうケースやローテーションが遅く崩れてしまった。メカニクスの理解を深めなければならない。	
担当ゲーム 2	（男子） Red Monsters（鹿児島県） vs 浦上自動車学校（長崎県）
クルー	CC:林 剛太 U1: 千原 翔太 U2: 角田 剛史
Pre-Game Conference	
● 1 試合目の反省を活かせる様に ● タフなボディコンタクト ● ビックマンへの対応	
Post-Game Conference	
● 自分のプライマリーから始まったプレイに対して、アングルを変えることで逆に見えなくなり判定が出来なかった。ステイして判定することも大事。 ● タフなボディコンタクトがあったが、ファールとわかっていてもケイデンスで判定が出来なかった。もっと積極的に笛を鳴らしてみるのも経験。 ● ダブルホイッスルがあった。クルーとアイコンタクトをすることで、プライマリーがコールすることができた。 ● リードの入り方、動きかたに対して以前の反省を活かすことが少してきた。意識しすぎると判定が出来なくなるため気をつけないといけない。	

大会名	長崎地区子高校新人大会
開催地	長崎東高校
日 時	令和 06 年 11 月 17 日（日）
担当ゲーム 1	（男子） 瓊浦（長崎県） vs 長崎西（長崎県）
クルー	CC:角田 剛史 U1: 松田 大輝 U2: 田中 祐輔
Pre-Game Conference	
● チームスカウティング（クルーとの情報共有） ● エリア分担について確認 ● 留学生ビックマンへの対応（OF・DF） ● ゴールテンディング・インターフェアの確認	
Post-Game Conference	
● プライマリーを意識して、判定に繋げることができていた。 ● 留学生に対して、ミスマッチでのディフェンスの腕の使い方について、クルーと共有し声掛けをして、大きなトラブルを未然に防ぐことができた。 ● ベンチや選手とのコミュニケーションの取り方が中途半端だった。CC メンタリティーが弱い。テクニカルファールを吹く準備も必要。 ● ダブルホイッスルがあった。笛を吹くタイミングとプライマリーの再度確認。	
今大会に参加しての感想など	
初日は、3 PO のメカニクスの理解が浅く、ローテーションが遅くなるケースが多かった。ルールブックや動画で見返しても、現場で体験して理解を深め研鑽しないと、成長出来ないと感じた。 また、メカニクスの理解やプライマリーの理解から、判定力に繋がってくると感じた。 ゲーム中の実践では、声を使って進行していくことで、スムーズなゲームが流れるケースが多くあった。引き続き活用していきたいと感じました。 相手が社会人とあり、判定に対してプレイヤーとのズレが生じてしまいました。コミュニケーションの大切さが大事だと感じました。 2 日目は高校生でしたが、留学生に対してのボディーコンタクトが正当なのかをクルーで話し合うことで判定に繋げることでフラストレーションを溜めずにゲームに集中させることができた。クルー間での共有が大切だと感じました。 今大会の開催に際し、事前準備から多大なるご尽力とご配慮いただきました、長崎県バスケットボール協会の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。 また、全九州総合への派遣をいただき、経験を積ませていただきました、大分県バスケットボール協会の皆様に感謝申し上げます。引き継ぎ研鑽を積んでいきます。	